



118	施設名	旧檜山診療所
	部局(課)名	市民福祉部（健康づくり課）
	所在地	檜山字赤館10-1
	施設面積	190.84㎡
	建設年度	S42

※物置含む

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	9,345,022円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S42＋耐用年数24年×1.2＝H8ほか

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	22人	777千円
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	廃止	解体を予定
「基本的な方針の考え方」 建物の老朽化が進み、1日平均の利用者数が0.4人となっていることから、令和元年度をもって廃止とし、施設については、老朽化が著しいことから解体する。 解体のためのアスベスト含有調査を実施し、施設内で保管されているX線発生装置の高濃度PCB含有コンデンサを適正な保管及び廃棄処理をしていく。		

※集約・複合化の検討について

検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

老朽化が著しいことから早期の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

施設の耐用年数を大きく経過していることから、施設周辺の安全を確保するため、解体するまで適切な維持管理を要する。

5 管理に関する実施方針

事業廃止後、早期に解体する。

6 管理に関する実施計画

解体までは、適正な管理に努める。 R2：アスベスト調査、PCB含有調査。
R3以降：施設解体、PCB廃棄処理。解体費用概算5,142千円。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	67	73	62	
修繕費		15	0	
光熱水費等	67	58	62	電気、ガス、水道、電話、灯油
事業運営費	694	709	715	
合 計	761	782	777	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他	1	1	1	行政財産使用料
合 計	1	1	1	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	11	7	10	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



119	施設名	鶴形診療所
	部局(課)名	市民福祉部（健康づくり課）
	所在地	字鶴形70
	施設面積	23.00㎡
	建設年度	S59

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	4,845,950円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S59＋耐用年数24年×1.2＝H25

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	133人 607千円	
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討
「基本的な方針の考え方」 診療時間を平成27年6月より、週1回から第1・3・5週火曜日へ変更している。 1日平均利用者数は約8人。 機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用するが、今後の利用状況等から事業のあり方について検討する。		

※集約・複合化の検討について

現施設は地域センター、公民館機能もあり複合施設となっている。
老朽化が進んでいることから、旧鶴形小学校へ地域センターと共に複合的な移転を検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

診療は民間医療機関へ委託しており、実態は公設民営方式となっている。

※民間等への譲渡の検討について

他の機能と複合化しており、民間への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

老朽化が進んでいることから、旧鶴形小学校へ地域センターと共に複合的な移転を検討する。

4 管理上の課題等

特になし。

5 管理に関する実施方針

R4年度の移転を予定し、点検、診断等により計画的な修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

移転までは、定期的な点検、診断等により計画的な修繕を実施する。

修繕等の実績及び今後の計画

16－医療施設No.119

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	－	0	
H30	－	0	
R1	－	0	
R2	F F ストープ分解清掃、エアコン設置	187	
R3	－	0	
R4	－	0	
R5	－	0	
R6	－	0	
R7	－	0	
R8	－	0	
R9	－	0	
R10	－	0	
R11	－	0	
合 計		187	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	11	0	
修繕費		11		
光熱水費等				
事業運営費	593	597	607	
合 計	593	608	607	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	208	159	133	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等

120	施設名	常盤診療所
	部局(課)名	市民福祉部（健康づくり課）
	所在地	常盤字上本郷158(旧常盤保育所内)
	施設面積	63.74㎡
	建設年度	S61

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	6,912,370円
行政・普通財産	行政財産(旧常盤保育所)	耐用年数到来年度	S61＋耐用年数24年×1.2＝H27

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	490人	2,397千円
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討
「基本的な方針の考え方」 診療時間は週1回木曜日(13:00～15:00)に実施している。 1日平均利用者数は約12人。 機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用するが、今後の利用状況等から事業のあり方について検討する。 施設の老朽化により更新が必要な場合は、統廃合、複合化を検討する。		

※集約・複合化の検討について

旧常盤保育所内に設置しており、常盤保育所廃止後は診療所のための施設となっている。施設の他の部分について活用要望等あれば、併設条件等について協議する。今後、学校統合等により地域全体の施設の活用について検討する際には、診療所の移設も視野にいれて検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

診療は民間医療機関へ委託しており、実態は公設民営方式となっている。

※民間等への譲渡の検討について

民間への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

診療所は建物全体の2割程度の面積しかなく、大部分は活用されていないため、維持費用の面からも効率が悪い。

5 管理に関する実施方針

現施設について、施設の老朽化の度合いにより、費用対効果を検証しながら、必要に応じて修繕し、維持管理を継続していくが、地域全体の施設活用の検討によっては、機能移転も視野に入れる。

6 管理に関する実施計画

--

修繕等の実績及び今後の計画

16－医療施設No.120

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	エアコン設置、壁修繕（間仕切り戸設置）等	615	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		615	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	174	127	140	
修繕費	59		16	
光熱水費等	115	127	124	電気、ガス、水道、電話、灯油
事業運営費	2, 123	2, 130	2, 257	
合 計	2, 297	2, 257	2, 397	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	567	505	490	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運營業務委託費等



121	施設名	富根診療所
	部局(課)名	市民福祉部（健康づくり課）
	所在地	二ツ井町飛根字前田33-3
	施設面積	211.00㎡
	建設年度	S30

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	6,384,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S30＋耐用年数24年×1.2＝S59

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	2,018人 1,822千円		
キャッシュフローと老朽化度	高負担老朽		
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討	
「基本的な方針の考え方」 1日平均利用者数は45～50人。 機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用するが、今後の利用状況等から事業のあり方について検討する。 施設の老朽化により更新が必要な場合は、他の施設への統廃合、複合化を検討する。			

※集約・複合化の検討について

H30年10月、富根診療所へ富根出張所が移設済(出張所の老朽化による)。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

診療業務は民間医療機関、管理清掃業務は地元の地区協議会へ委託しており、実態は公設民営方式となっている。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

今後も劣化による修繕・改修等が見込まれる。
耐用年数を大きく経過しているため、機能移転について検討する必要がある。

5 管理に関する実施方針

耐用年数を大きく経過しているが、利用者が多いことから事業の継続は必要であり、また富根出張所の移設がされ、複合施設となったことから、当面は修繕対応しながら活用していく。
現施設の使用が不可能となった場合には、利用者実績等により診療所事業の存続及び、富根出張所のあり方も含め、移設等も視野に入れながら検討する。

6 管理に関する実施計画

--

修繕等の実績及び今後の計画

16－医療施設No.121

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	駐車場舗装工事	955	
H30	浄化槽ポンプ取替修繕	264	
R1	—	0	
R2	エアコン設置	450	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		1,669	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	1,130	448	229	
修繕費	955	264	53	
光熱水費等	175	184	176	電気、ガス、水道、電話、灯油
事業運営費	1,671	1,579	1,593	
合 計	2,801	2,027	1,822	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他			1	行政財産使用料
合 計	0	0	1	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	2,198	2,160	2,018	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等